

# 第1回田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議議事録

## 1 日時

平成30年6月23日（土） 10時00分から12時05分

## 2 開催場所

田中近隣センター 2階会議室

## 3 出席者

### (1) 委員

竹之内明委員（田中地域ふるさと協議会）、根本利治委員（柏市ふるさと協議会連合会）、増田明委員（柏市若柴町会）、伊藤孝委員（新若柴町会）、増田勝美委員（東十余二町会）、山ザキ寛委員（柏の葉一丁目自治会）、米山諭委員（柏の葉二丁目町会）、石毛伸委員（柏の葉三丁目町会）、野村芳顕委員（柏の葉キャンパス一番街町会）、山境秀文委員（柏の葉キャンパス二番街町会）、深野千都子委員（柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合）、秋山享克委員（柏市社会福祉協議会）、三牧浩也委員（柏の葉アーバンデザインセンター）、大野正英委員（麗澤大学経済学部）、飯田晃一企画部長、篠原忠良市民生活部長、宮島浩二保健福祉部長、南條洋介都市部長、高橋直資地域づくり推進部長

### (2) 事務局

ア 田中近隣センター

西内所長

イ 地域支援課

沖本課長、染谷主幹、老川主査、本間主事、土屋主事及び照沼主事補

## 4 配布資料

### (1) 次第

(2) 説明事項1 柏市のコミュニティ施策とコミュニティエリアについて

(3) 説明事項2 柏市ふるさと協議会について

(4) 説明事項3 田中地域について

(5) 協議事項 コミュニティエリアの新設について

(6) 連絡事項 田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議スケジュール

(7) 田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議設置要領

(8) 田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議出席者名簿

## 5 議事概要

### (1) 開会

### (2) 委員挨拶

### (3) 委員長・副委員長選出

委員の互選により、委員長に大野委員が、副委員長に三牧委員が選出された。

### (4) 委員長あいさつ

#### (大野委員長)

2点確認しておきたいことがある。1点目は、一番は住民のためにどうかたちにしていけばよいかということを考えていきたいということ。防犯、防災、地域の高齢化、子育ての問題について地域でどう動いているか、共助の観点から考えていきたい。

2点目は時間軸という視点を持っていきたい。今の地域が出来てきた歴史的な過程を大切にすることと同時にこれから10年、20年、30年後の先を見据えていくことを考えていきたい。

### (5) 議事

ア 説明事項1 柏市のコミュニティ施策とコミュニティエリアについて（染谷主幹）

イ 説明事項2 柏市ふるさと協議会について（染谷主幹）

#### 【質疑応答・意見】

#### (伊藤委員)

新若柴町会はほとんどが松葉第一小学校に通っており、松葉第一小学校の生徒の2/3は新若柴町会から通っている。コミュニティエリアを分けた場合、学校は柏の葉小中学校に通うことになるのか。

#### (地域支援課沖本課長)

コミュニティエリアができた昭和50年代は、学区とコミュニティエリアは近かったと思う。中学校はムラに一つという形であり、コミュニティエリアも昔のムラを意識して作られていた。その後人口が増える中で、学区に合わせて教室を増やすのではなく、学校の規模に学区を合わせてきた経緯がある。そのため町会のエリアと学区が一緒でないということが市内どの地域でも発生している。この問題は教育委員会とも話し合っていかなければいけないと考えている。

ウ 説明事項3 田中地域について（染谷主幹）

エ 協議事項 コミュニティエリアの新設について（染谷主幹）

#### 【質疑応答・意見】

#### (大野委員長)

それでは、まず、既に田中地域のなかでふるさと協議会に入られて活動されている若柴町会、新若柴町会、東十余二町会のどなたかからご発言いただければ。

#### (増田勝美委員)

東十余二町会は範囲が広く、意見をまとめきれないが、今すぐにではなく時期を見

ながら移っていればとの意見がある。エリア的には高田・松ヶ崎地域の方が隣接している地域になっている。

**（伊藤委員）**

民生委員で若葉の会が立ち上がったが、柏の葉の人とも連携できており良い関係が作られている。

**（増田明委員）**

東十余二町会と同じで高齢化はしている。学区は柏の葉小学校，親子会は柏の葉小学校，学校は田中小学校とズレがある。将来的に柏の葉コミュニティエリアに入るのはよいと思う。柏の葉キャンパス（一番街など）が若柴町会に入るといった話があったが、過去に断ったという経緯がある。現状は今のまま（田中ふるさと協議会）がよい。

**（大野委員長）**

率直なご意見ありがとうございました。ひとつは子どもたちの学区が入り組んでいるという問題がある。各町会のなかにも区画整理のラインが入ってきて新しい住民のかたをどういうふうに取り入れていくかという問題が町会ごとにもあるのかなと思う。

では次に柏の葉地域で柏の葉一丁目，二丁目，三丁目の方で何かご意見いただければ。

**（山ザキ委員）**

時代が変わっていることを感じている。柏の葉一丁目町会から三丁目町会と一緒に活動できればよい。

**（米山委員）**

田中エリアと西原エリアの真ん中に位置している。

**（石毛委員）**

意見の集約は難しい（町内でもまだ議論されていない）。時間軸を考える，住民のためにというのであれば全員の意見を聞くべきだが聞くのか。将来を見据えたことを考えると市の意見に従ってもよいのではと思う。町会としては①案②案どちらでもよいがメリット・デメリットが町会員に説明できるようわかるとよい。

**（大野委員長）**

それでは引き続き各町会からの意見をお伺いしたいと思う。柏の葉キャンパスの町会をお願いします。

**（野村委員）**

古くから根付いている方々と自分達の意識・生活習慣の差は大きい。田中地域を意識するのはみこし祭りのときぐらい。近隣センターの存在を知っている人も数パーセントであろう。ふるさと協議会の活動についてもよく知らない。コミュニティ分

割は妥当だろう。コミュニティ分割をするタイミングは今でよいだろう。

**(山境委員)**

町会でディスカッションをしたが即刻エリアを見直すべき。将来6万人となる予想のコミュニティは現実的ではない。人口推移はもう少し細かく知りたかった。エリアを新しく作ったときに柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会との関わりも考える必要がある。エリアの移行を広く考えてほしい。

**(深野委員)**

平成29年に完成し347世帯の住民で構成されている。今後、田中地域に住んでいるかたと一緒に活動するのは難しいだろう。単身者、高齢独居、子育て世代と様々である。田中近隣センターが遠い。新しいコミュニティエリアを作ったとして災害時を考えると新しい近隣センターができればよいなと思う。まずは町会の立ち上げが目標。

**(大野委員長)**

各住民代表ということでご意見頂戴したがお互いの中でもう少し発言したい、もしくは聞いてみたいということがあれば。

**(増田勝美委員)**

東十余二町会内に新しく大きいマンションが出来たが、東十余二町会には入らず、別で町会を立ち上げてもらうことにした。

**(増田明委員)**

新しいところは町会に入らず、新しく町会を作ってもらうことになるだろう。

**(根本委員)**

田中地域は広い。昔は広くても横のつながりがあり問題なかった。現状ふるさと協議会ひとつ(田中)でやっていくのは懸念がある。すべての住民をひとつにするのは不可能。新旧住民の価値観が違うのは当然。新しくふるさと協議会ができれば、ふるさと意識も醸成されていくだろう。分けるときには、子どもの問題、大人の問題を考える必要がある。

**(大野委員長)**

近隣センターについてはどうなるのか。

**(地域支援課沖本課長)**

柏市公共施設等総合管理計画では、ひとつのコミュニティエリアにひとつの近隣センターという方針である。新しいコミュニティエリアが出来れば設置を検討していくことになる。

**(大野委員長)**

近隣センターが出来たときのメリットは。

**(地域支援課沖本課長)**

地区災害本部ができること。ふるさと協議会の事務所，身近な活動場所（軽運動，会議など）ができるといったことがある。

（都市部南條部長）

まちづくりの観点からいくと地域の特徴が似ている区域に分かれていた方がよい。

（三牧副委員長）

中学校区と合わせるというのは現実的に厳しい。住民意識などを重視して分けていく議論をしていければと思っている。

（竹之内委員）

人口が増えてくるのは事実。長年一緒にやってきた若柴町会，東十余二町会とは引き続き活動していきたい。①の案がよいのではないか。実質田中ふるさと協議会で活動している町会数は16町会（全24町会中）。

（秋山委員）

民生委員の活動が地域を支えている。担い手がいなくなってくる。コミュニティエリアを分割して活動するのは軌道に乗るまでは大変。田中の地域民生委員児童委員協議会が分割した経緯はT×開通によって相談事，困りごとが増えてきて民生委員のほうから分けて欲しいとの声があり分割した。170～360世帯の間で世帯ごとに民生委員を置くことになっている。

（山境委員）

市としてはどう考えているのか。

（地域支援課沖本課長）

分割に関しては分けられたほうがよいと思っている。検討を始めた当初は②案が妥当ではないかと思っていたが，各町会へのヒアリングを通して①案も検討するようになった。

（野村委員）

柏の葉をさらに分割する③案（柏の葉1丁目，2丁目及び3丁目と，柏の葉キャンパス一番街，二番街及びゲートタワーのふたつに分ける）はどうか。

（地域支援課沖本課長）

議論から排除するものではないが，ある程度の人口・面積の規模は持っていたほうがよいだろう。

（大野委員長）

確認だが，コミュニティエリアを分けるということは最終決定ではないが前向きに考えていくという方向でいきたい。ただし，そのときの分ける案（線引き）については次回の協議事項としたい。今日の議論を総括すると，エリアの問題と実際に運営していく運営主体の問題がある。今後（将来）のコミュニティエリアについては緩く考えていくことも必要だろう。また，福祉，防災，子育て，教育の面を考えて

も直近の問題である。

**6 閉会**

**7 次回開催日時（予定）**

平成30年8月4日（土）午前10時から  
東葛テクノプラザ 第二研修室